

授業科目名	管弦楽法 I	担当形態	講義		
		開講学期	春学期		
担当教員	小林 聡	単位	2	年次	3

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

管弦楽法の基礎となるオーケストラ楽器の特性・用法について学習しながら、ピアノ作品をオーケストラ楽器のために編曲するための初歩的な技術を身につける。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

オーケストラで使われる楽器に興味を持ち、ピアノ作品等をオーケストラ楽器のために編曲したいと考えている人を対象とする。管弦楽法と作曲法は多くの部分で重なっているため、履修に際し、和声、対位法、楽式の十分な知識と能力を備えていること。2/3 以上の出席がない場合、理由に関わらず、失格とする。遅刻、早退、中途退席 3 回で欠席 1 回と見なす。また、授業時間の半分の時間（45 分）を超過しての遅刻、早退、途中退席は欠席扱いとする。無断退席・無断退室禁止。携帯端末使用禁止。飲食禁止。

### ＝授業の概要＝

オーケストラで使われる各楽器の特性・用法を、各楽器の記譜法（ハ音記号や移調譜によるものを含む）を習得しながら学習し、ピアノ作品の各声部の動きと和声を、原曲の特徴を生かしながら、オーケストラ楽器の置き換えるための基礎的な技術を習得する。

### ＝授業計画＝

- 1 回 導入
- 2 回 弦楽器 (1)
- 3 回 弦楽器 (2)
- 4 回 ピアノ作品の弦楽器によるアレンジ
- 5 回 木管楽器 (1)
- 6 回 木管楽器 (2)
- 7 回 ピアノ作品の木管楽器によるアレンジ
- 8 回 金管楽器 (1)
- 9 回 金管楽器 (2)
- 10 回 ピアノ作品の金管楽器によるアレンジ
- 11 回 打楽器
- 12 回 鍵盤楽器
- 13 回 ハープ
- 14 回 ピアノ作品の小編成のオーケストラによるアレンジ
- 15 回 まとめ

### ＝テキスト（必携）＝

書籍名：新総合音楽講座 8 管弦楽法概論

著者名：河江一仁

出版社：財団法人ヤマハ音楽振興会

### ＝参考書・参考資料（必携）＝

必要に応じて使用する作品の楽譜等を指示する。必携ではないが、次の参考書は管弦楽法を学習する際に、大変有用である。

書籍名：管弦楽法

著者名：ウォルター・ピストン／戸田邦夫訳

出版社：音楽之友社

### **=成績評価の方法と評価の基準=**

提出課題、授業への参加姿勢、日頃の添削課題など、総合的に判断する。(85点以上A、70～84点B、60～69点C、59点以下D) 授業を著しく妨害した場合はC・D評価もありうる。

### **=その他=**